

◆◇◆仙台市人事委員会メールマガジン ～働く自分をイメージしよう！～ 2023/12/1◆◇◆

令和5年度職員採用試験 最終合格者（採用予定者）の皆さんへ

皆さんこんにちは！仙台市人事委員会事務局からメールマガジンをお送りします。

今回のメルマガでは、

◆先輩職員（獣医師）インタビューをお届けします！

.....

今回は、健康福祉局食肉衛生検査所の菊地 雪乃さん（獣医師入庁4年目）にお話を伺いました。

職種に関わらず参考になるお話があると思いますので、是非最後までご覧ください。

1. 獣医師になろうと思ったきっかけについて教えてください。

きっかけは特になく、小さい頃から動物が好きで漠然と獣医師になりたいと思っていました。

2. 入庁してからの異動歴を教えてください。

令和2年4月～現在 健康福祉局食肉衛生検査所

3. 現在の職場の職員構成（人数や職種の割合など）を教えてください。

年齢が20代～60代の獣医師24名（うち正職員22名）と庶務事務担当（会計年度任用職員）で構成されています。

4. 現在携わっている事業（業務）の内容を教えてください。

搬入される家畜について、生体検査や解体検査を含めた「と畜検査」を行い、食肉の安全を確保しています。また、微生物班の一員として感染症が疑われる家畜の精密検査や、作業員が衛生的にと畜・解体できているかどうかの指標となる微生物試験、健康な家畜の病原細菌の保菌調査といった調査研究に携わっています。

5. 始業から退庁までの一日の仕事の流れを教えてください。

8：30～12：00 と畜検査

12：00～13：00 昼休憩

13：00～15：00 と畜検査

15：00～17：15 事務作業、調査研究

6. 仕事にやりがいを感じるのはどんな時ですか。

食肉の安全を確保するために、解体ラインや検査室での検査において獣医師の専門的な知識を活用できることにやりがいを感じます。また、学生時代には縁のなかった調査研究はやってみると非常に興味深く、成果の有無にかかわらず、それがノウハウとして蓄積されて自身のスキルアップにつながり、食の安全やリスクの判断材料になっていくことにもやりがいを感じています。

7. 職場デビューしてから1～2週間の職場での様子を教えてください。

メインの業務である解体ラインでの、と畜検査については、決められた時間内に的確な検査ができるよう、2か月ほど指導担当の先輩についてもらいました。と畜検査の終了後は、関連法令や検査室で実施する精密検査についての研修を受けていました。

8. 実際に働いてみて、入庁前に抱いていたイメージと違うと驚いたことはありますか。

事務所や更衣室、シャワールームが清潔だったことがうれしい驚きでした。

また、職員の数が多く年齢層が幅広いにも関わらず、質問や意見交換のしやすい職場だったため、働きやすいと感じました。

9. 学生時代に学んだことが、今の仕事に役立っていると感じることはありますか。

獣医師としての専門知識だけでなく、自分で学ぼうとする姿勢やアルバイトやサークル活動で培ったコミュニケーション能力が仕事に役立っていると感じています。

10. 合格してから入庁するまでの間、どのように過ごしていましたか。また、その時期にやっておくといいいこと、やっておけば良かったと思うことはありますか。

前職でなかなか時間が取れなかったため、国内や海外に旅行に行きました。他にも自宅でゆっくりしたり、経験したことのない職種でアルバイトをしたり、気が向いたら学生時代に学んだことの復習をしたり、自由に過ごしていました。

11. 最後に、合格者へのメッセージをお願いします。

合格おめでとうございます！

仙台市職員としての獣医師の仕事は多岐にわたり、配属先もさまざまです。先輩方など周りにサポートしてもらって、たくさんの学びや経験が得られると思います。一緒に働けるのを楽しみにしています！

.....

※このメールは、令和5年度職員採用試験に最終合格した方で、メールアドレスを登録いただいた方に配信しています。